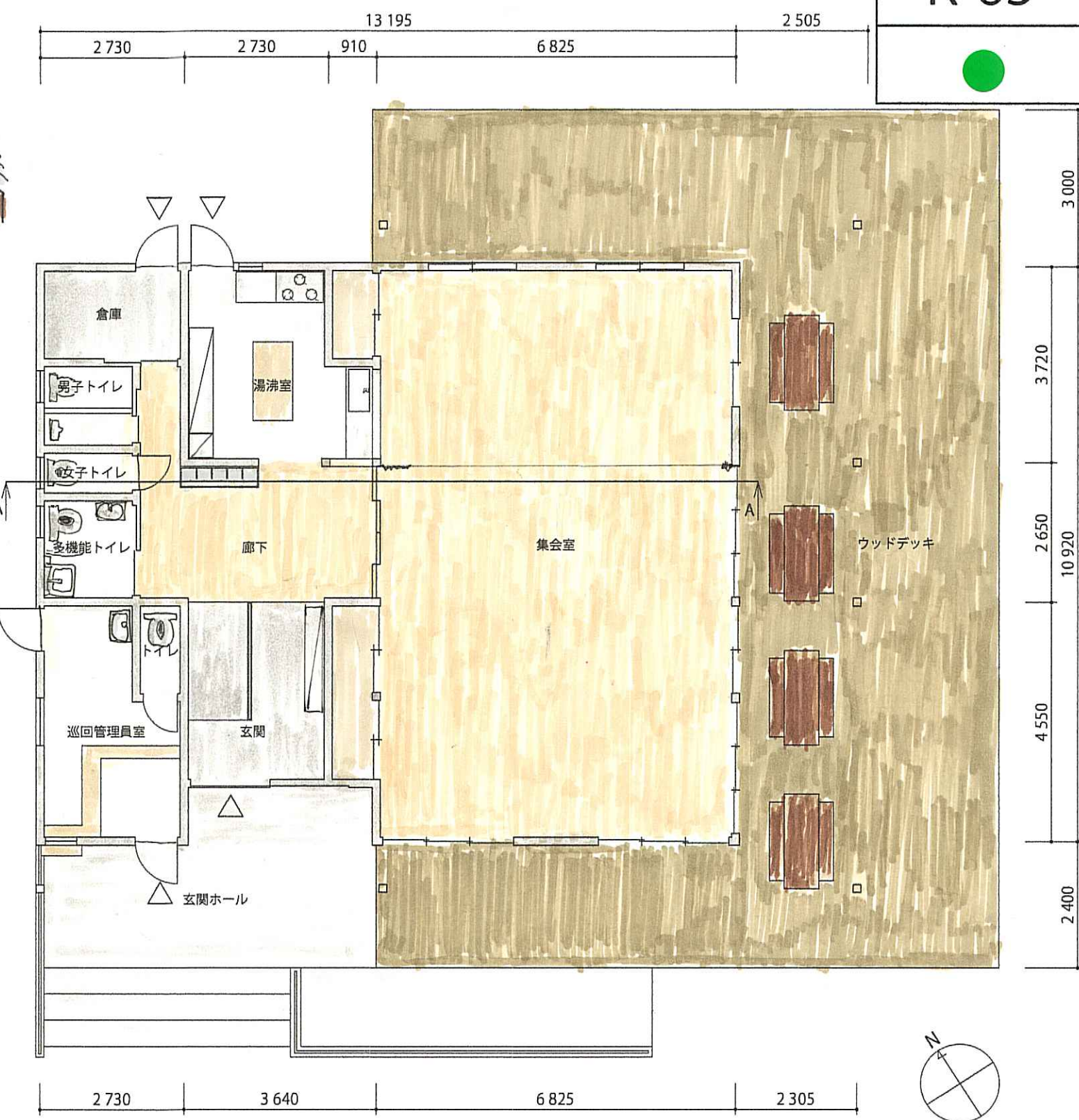
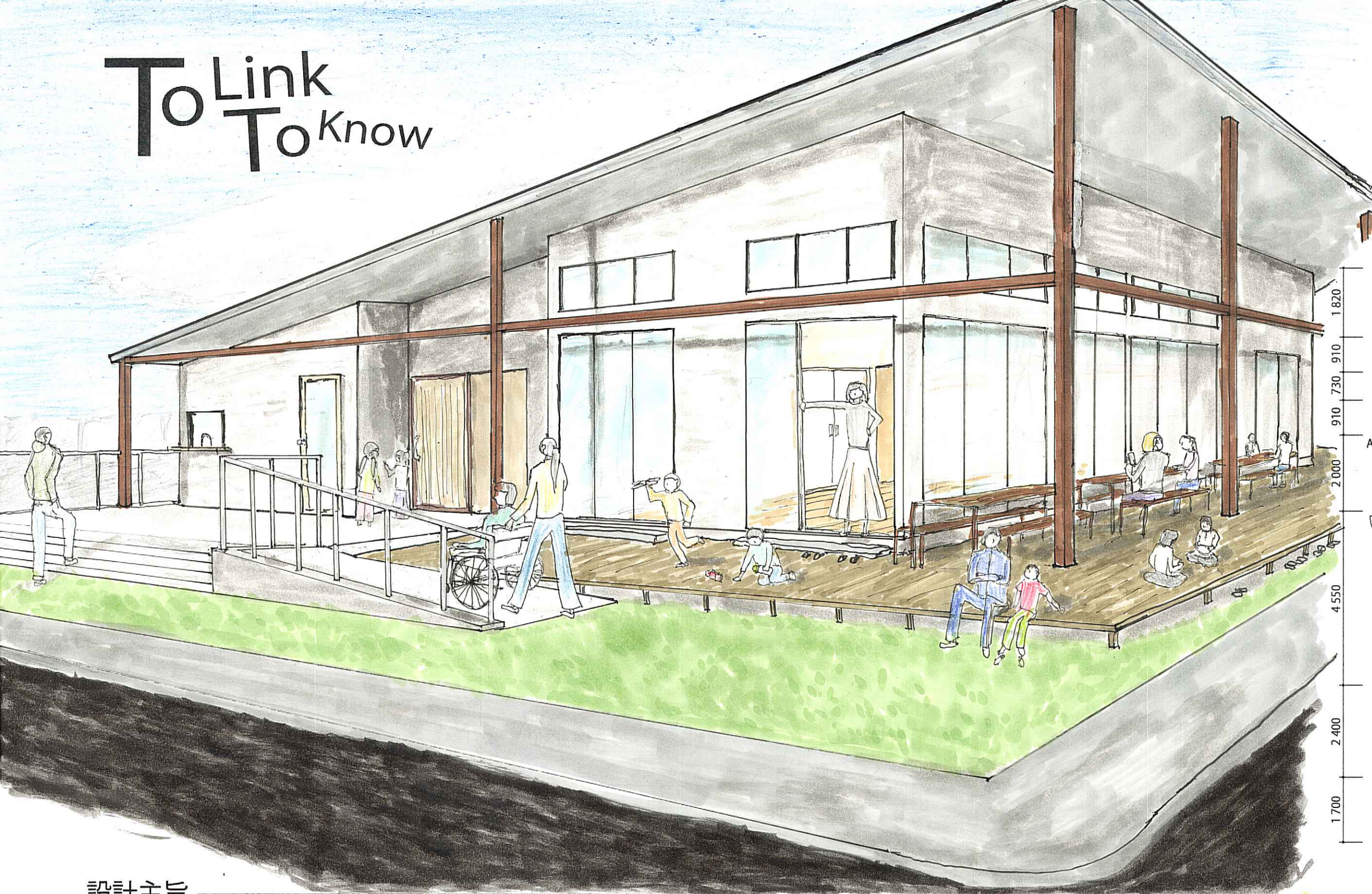




設計主旨

集会所というのはあくまで施設である。使用者にとっては特別感があり、距離があるように感じる。しかし私は人と人がつながるような集会所にするにはこの特別感をなくし、施設ではなくもっと一般的な建築にすることが求められていると思う。この特別感の一因に普段から施錠されており、用事がないと使うことができないことがある。そこで私はウッドデッキを設けて特別な用事がなくても部分的に集会所をえるようにすれば、集会所を身近に感じることができるのではないだろうか。集会室は窓を大きく取りつつ掃き出し窓を開けて使えばウッドデッキ分の広さを使えるようにした。そうすることで使用の幅が広がり、外から何をしているかわかりやすくなることでより多くの人に集会所に興味を持ってもらうことができる。集会所としてだけでなく交流の場として様々な人に使ってもらい、住民にとって身近な建築になるように設計した。

建築概要

床面積 約 149 m²

算定表

ホール	6.82×10.92=74.47 m ²	玄関	2.73×3.45=9.42 m ²
トイレ	2.53×2.73=6.91 m ²	廊下	0.91×1.90+2.65×4.55=13.79 m ²
多目的トイレ	2.00×2.73=5.46 m ²	湯沸室	3.64×3.72-1.82×0.91=11.89 m ²
倉庫	1.82×2.73=4.97 m ²	巡回管理員室	2.73×4.55=12.42 m ²
納戸	0.91×1.82+0.91×3.45=4.80 m ²		

外壁仕上げ：モルタル仕上げ

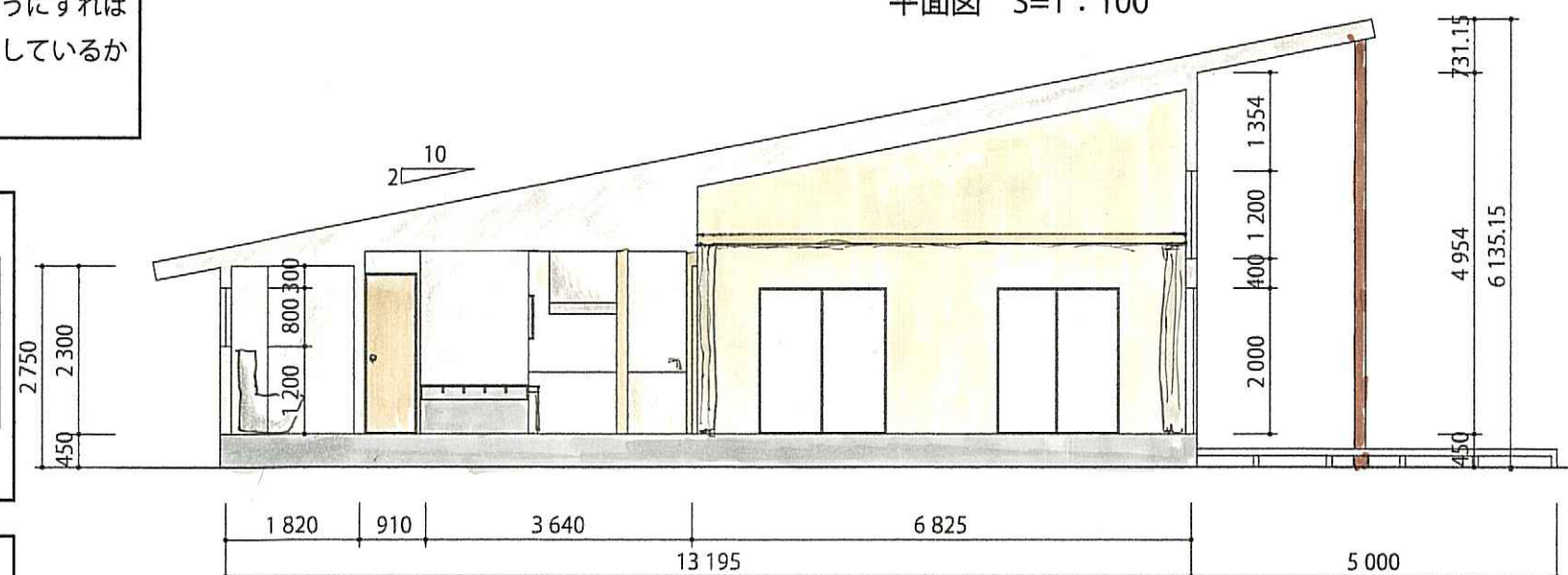
屋根材：スレート屋根材

構造：木造

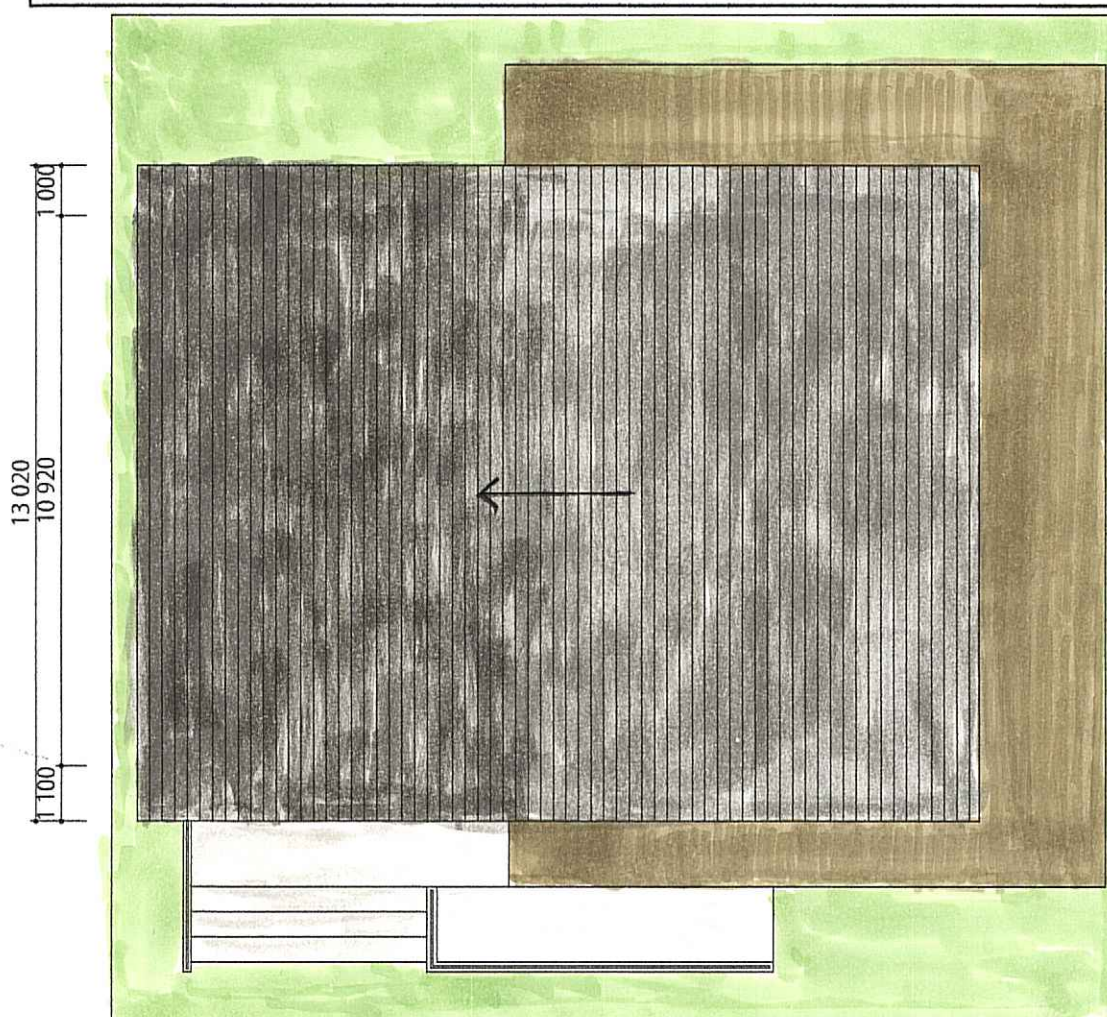
利用者に向けて

私は人とのつながりは相手を知ることが大前提であると思う。知るためには会うことが必要である。今はインターネットを通して相手を知ることができるが、それだと弱いつながりしかできない。実際に会うからこそ強いつながりができる。そんなつながりを紡ぐような場所にしてほしい。

平面図 S=1:100



A-A 断面図 S=1:100



配置図兼屋根伏図 S=1:150

東立面図 S=1:100

南立面図 S=1:100